

砥部焼クイズ

(2011年関東砥部焼祭りのイベントで募集された砥部焼に関するクイズです。)

以下の文章に当てはまる答えを解答欄よりお選びいただき、その番号を()内にご記入ください。

砥部焼が作られている砥部町は(A)県にあります。キャッチフレーズは「清流と(B)砥部焼と(C)」というのどかな町です。

町内には人工哺育で育てられたホッキョクグマ(D)ちゃんで有名なとべ動物園があります。よく陶磁器と言いますが、陶器と磁器には違いがあります。簡単に言うと陶器は土から、磁器は(E)を粉砕した粉から作ります。

もともと砥部町は(F)の産地で、そのクズを水車で砕いて利用するところから砥部焼は生まれました。砥部焼は(G)時代から作り続けられ、現在、約(H)箇所の窯元さんで作られています。

砥部焼と言えば唐草文様が有名ですが、唐草文様とはメソポタミアやエジプトから(I)を経て、中国から伝わったと言われています。砥部焼最大の窯元(J)窯の唐草文様は特に有名です。

砥部焼のお茶碗を(K)茶碗と呼びます。これは江戸時代、(L)を往来する船に、「飯食らわんか」と叫びながら、飯を売った小船で使われたのが由来となっています。舟で使用する器なので(M)が大きく安定した形が特徴です。

窯元さんにはそれぞれに個性的な絵柄があります。カトリアが人気の(N)窯、金銀の色使いが華やかな(O)工房、迫力あるなまず絵の(P)窯など、見ているだけで楽しい作品ばかりです。

砥部焼は、土練 成形 仕上げ 乾燥 (Q) 下絵付 施釉 本焼 赤絵付 二度焼という工程を経て出来上がりますが、下絵付けの際に使われるのが(R)という藍色の顔料です。

本焼の工程では約(S)度で15~24時間かけて焼き上げます。

昔は薪を使った(T)窯で焼いていましたが、今ではガスなどの燃料を使った窯が主流で、薪を使う窯は珍しくなりました。

他の産地の陶磁器とは異なり、砥部焼は、現在でもそのほとんどが、ひとつひとつ手作りで作られています。砥部焼独特のあたたかで、いつまでも飽きのこない風合いは、陶工たちの熟練の技から生み出されたものです。貝殻亭リゾートは世界に誇る日本の伝統工芸品として、それらを手がける職人達の想いと歴史が育んだ日本文化を伝えていきたいと思っています。

解答欄

- | |
|---|
| (1) とべっち (2)シルクロード (3)呉須 (4)ミカン (5)香川 (6)リンゴ (7)ピース (8)淀川
(9)砥石 (10)藍 (11)江戸 (12)梅山 (13)素焼 (14)高台 (15)くらわんか (16)西岡
(17)1300 (18)一度 (19)利根川 (20)愛媛 (21)うどん (22)ホテル (23)平安 (24)きよし
(25)池本 (26)下り (27)100 (28)陶石 (29)カエル (30)登り |
|---|

メールで答えを入れて頂きお送りいたしますと採点致しまして返信させていただきます。